

部活動運営方針

1. 目的、心構え

- (1) 自主的・自発的に活動を行い、『豊かな人間性や生きる力』を身につける。
- (2) 部活動に一生懸命励む。何事においても率先し行動して、洛南中学校の生徒として自信と誇りが持てるようにする。
- (3) 学校生活の上に部活動が成り立っていることを理解し、『気づき、考え、行動する』を実践する。

2. 活動条件

- (1) 部の成立…①担当する顧問となる教職員がいること。
②運動部は、単独で公式戦（団体）に出場できる人数、文化部は8名以上の部員希望者がいる場合、同好会としての活動を検討する。
③活動できる場合は、次年度より正式の部として活動する。ただし、その同好会が規定の部員数に満たない場合は、同好会として続けられず活動を停止することもある。
④校内に活動場所を確保できること。
- (2) 休部…部員がいないとき。
- (3) 廃部…担当する教職員がいないとき。または、休部が続くとき。

3. 活動時間

活動日	終了時間	完全下校
通年	17:00	17:15

3月～10月までの夏時間に関しては試合1週間前に限って、延長システム30分間を設ける。（完全下校時間は17:45）ただし、中体連と協会主催の公式戦のみに限る。

※延長をする場合は、職員室内の部活動延長届ホワイトボードに期間と下校時間を顧問の先生に記入してもらおうよう、キャプテン、部長が必ず記入すること。（記入がなかった場合、延長はできません。）

※長期休業中の活動時間…原則9:00～17:00
試合の準備・片付けに関しては、その限りではない。

- (1) 行事等で午前中授業の場合は、月～金曜日に準ずる。
※行事などの都合で、時間短縮や中止になる場合もある。
- (2) 活動停止…定期考査前は、期間を定めて、日時を決定する。

行事等	前日	当日
入学式（午前）	×	×
入学式（午後）	×	×
卒業式	×	×
修学旅行（宿泊行事）	×	×
校外学習・チャレンジ体験	（学年で可否を決定）	×

※定期考査前…テスト最終日より7日以内に公式戦がある場合のみテスト一週間前部活動可。
原則として、テスト当日は不可。

- (3) 早朝練習について・・・原則、禁止とする。

- (4) 適切な休養日・休養時間等の設定について

休養日…学期中は、子ども一人一人に週当たり2日以上休養を設ける。

（子ども一人一人の休養日が、平日1日・土日1日以上とする。）

休養時間…子ども一人一人の活動時間は、平日2時間程度。休日3時間程度とする。

ただし、公式戦の参加などで活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

4. 活動規定

(1) 活動する上での決まり

- ① 休日（土・日・祝）・各休業中については、顧問がいなければ活動できない。
- ② 平日の活動についても顧問がいらない場合は、原則活動できない。ただし活動する場合は終了時に教頭先生に報告すること。
（事前に顧問から練習内容を聞く。）

(2) クラブボックス使用

- ① 活動中以外は施錠し、放課後の活動以外の使用を禁止する。
- ② 破損、鍵の紛失等はすぐに顧問まで届ける。
- ③ クラブボックスの鍵は、職員室の鍵置き場に保管し、必要な時に使用する。

(3) 活動場所

- ① グラウンド・テニスコート・体育館・武道場・各教室。
- ② 校舎内でのトレーニングは（雨天にかかわらず）禁止する。（ミーティングは除く）
- ③ ①以外の場所で活動する際は安全に配慮した練習を行う。
例）バット、ボール、ラケット等...
- ④ 車の出入り口があるため、北門付近での活動は行わない。

5. 更衣・服装

- ① 部活動で定められた場所で更衣をする。
- ② 更衣後の荷物は活動場所へ持っていくこと。
- ③ 貴重品を持ってきた場合は、顧問の指示に従う。
- ④ 活動時の服装は、（学校指定の）体操服・各競技特有のユニフォーム、または顧問の指導により決められた服装とする。（学校生活の決まりに準ずる）

6. その他

- (1) ミーティング等で教室を使用する時、後始末をしっかりとすること。（ゴミは持ち帰ること）
- (2) 入部・退部については、所定の手続きにより行う。（必ず担任・顧問に相談すること）
- (3) トイレの使用場所について

グラウンド	中館西側トイレ
体育館・武道場	体育館・武道場トイレ
文化系	顧問の指示に従う

※トイレ清掃は、各部活動で徹底して管理する。